

2016 年度 大学院  
アジアビジネス特別選抜試験要項  
公益学研究科公益学専攻（修士課程）

## 1. 募集人員

### 公益学研究科 公益学専攻 修士課程 10名程度

## 2. 出願資格

以下のいずれかの要件を満たす者で、アジアビジネス人材養成講座の受講を目的とする者(※)。

- (1) 大学を卒業した者、および2016年3月卒業見込みの者
- (2) 学位授与機構において、学士の学位を授与された者、および2016年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2016年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者(大学又は短期大学に2年以上在学し、62単位以上取得した者で、教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者等)
- (5) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2016年3月末までに22歳に達する者(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業した者や外国大学日本分校等を修了した者など大学卒業資格を有していない者で、本大学院において審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、かつ2016年3月末までに22歳に達する者)
- (7) その他大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※「アジアビジネス人材養成講座修了証」の発行要件となる5科目以上を履修する必要があります。また、演習の指導については、アジアビジネス人材養成講座の担当教員を選択し、修了する必要があります。

[注意事項] (5)(6)(7)により出願を希望する方は、出願開始日の1ヶ月前までに本学大学院事務室へ申し出てください。

## 3. 試験日程

出願受付期間	2016年1月29日(金)～2016年2月19日(金)※
試験日	3月6日(日)
合格発表日	3月11日(金)
入学手続期間	3月11日(金)～3月22日(火)※

※最終日の消印有効

## 4. 出願手続

### (1) 出願書類

入学志願票 (A・B・C票)	別添の所定用紙に必要事項を記入したもの。 写真は、縦4cm、横3cm、1枚。3ヶ月以内に撮影したもの。正面・上半身・脱帽・背景なし。白黒・カラーいずれでも可。裏面に氏名を記載して、志願票に貼付してください。
志望理由書	別添の所定用紙に従って記入してください。
履歴書	別添の所定用紙に必要事項を記入したもの。
推薦書	企業、団体、官公庁、学校などに在籍する者で、当該組織の長から推薦の上派遣される者のみ。

○ 出願書類は、すべて黒または青のボールペン等で記入してください(鉛筆書不可)。

(2) 入学検定料 30,000 円

- ① 別添の払込用紙により、郵便局から払い込んでください。
- ② 払い込みの際に、受付局日附印を押した「郵便振替払込受付証明書（お客様用）」を必ず受け取って、入学検定料納付票（B票）の所定の位置に貼付してください。
- ③ 「払込票兼受領証」は、本人が保管してください。
- ④ いったん納入された検定料は、返還しません。

(3) 出願方法

出願書類を一括取りそろえ次のいずれかにより提出してください。

① 郵送の場合

- ・市販の角2封筒に「大学院入学出願書類在中」と朱書きし、書留速達にて送付してください。

[郵送宛先]

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町 14-1  
東北公益文科大学大学院事務室 入学願書受付係

② 直接提出の場合

- ・鶴岡キャンパスの大学院事務室に提出してください。受付時間は 9:00~17:00 です。

## 5. 入学試験

入学試験は、次のとおり行いますので、試験開始 10 分前までに試験場に集合してください。

(1) 選考方法

下記の試験および書類審査の結果を総合して選考します。

試験内容		試験時間
面接試験	提出された志望理由書に基づき試問する。	30 分程度

(2) 試験時間

受験票に記載し、お知らせします。

(3) 試験場

東北公益文科大学大学院（鶴岡市馬場町 14-1） 電話 0235-29-0555

## 6. 受験上の注意

- (1) 受験票は、出願締切後に返送します。
- (2) 試験日の 3 日前の時点で受験票が未着の場合は、本大学大学院事務室までお問い合わせください。
- (3) 試験当日は、受験票を必ず携帯し、試験場の受付の際に提示してください。
- (4) 身体に障害のある受験者で、受験の際に特別の配慮を必要とする場合は、出願の際に本学大学院事務室まで申し出てください。

## 7. 合格発表

(1) 合格者の発表

合格者の受験番号を、合格発表日の午前 10 時に大学院事務室前掲示板に掲示します。

※電話等による問合せには一切応じません。

(2) 可否通知の送付

可否通知を入学志願票に記載された「受験時連絡先」に郵送します。

※事務室窓口での交付は行いません。

## 8. 入学手続

- (1) 合格者には、合格通知とともに入学手続要項・関係書類を入学志願票に記載された「受験時連絡先」に郵送しますので、要項等にそって、入学手続時納付金を納入の上、必要書類を所定の期間内に提出してください。
- (2) その他詳細は、合格者宛に送付する「入学手続要項」を参照してください。

### [初年納付金]

(単位：円)

	年額	支払時期	
		入学手続時	後期(10月)
入学金	200,000	200,000	—
授業料	500,000	250,000	250,000
施設整備費	100,000	50,000	50,000
合計	800,000	500,000	300,000

- ・ 企業等からの派遣入学者の入学金は 100,000 円です。
- ・ 上記の他に、学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円 (2 年分) と学研災付帯賠償責任保険料 680 円 (2 年分)、海外インターンシップ (希望者) の費用が必要です。

(金額は 2016 年 9 月時点)

### [学費減免について]

本人・派遣元の費用負担を軽減させるために、以下の減免制度があります。

	対象	減免内容
A 減免	[下記要件全てに該当する者] ・ 入学時無職である者 ・ 修了後、山形県内企業等に従事し、アジア諸国との経済交流に取り組む意思のある者 ・ 上の者の内、本学で採用を認めた者	入学金、授業料、施設整備費を全額免除
B 減免	[下記要件のいずれかに該当する者] ・ 入学時に山形県内に在住する者 ・ 山形県内に本社機能を有する企業等に所属する者	授業料を半額免除

### [入学手続時納付金の返還措置について]

本学では、入学手続終了後、入学を辞退される方から申出を受けた場合には、納付いただいた入学手続時納付金 (入学金、授業料、施設整備費、学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料) から入学金を除いた額を返還いたします (振り込み手数料は本人負担)。返還申出期日は 2015 年 9 月下旬です。詳細は、合格者宛に送付する「入学手続要項」を参照してください。

## 9. 長期履修制度について

本大学院修士課程の標準修業年限は 2 年間ですが、諸事情により、3 年又は 4 年間で計画的に履修を行う長期履修制度があります。この制度では、授業料 2 年分を履修年にあわせ、3 年又は 4 年に分割納付するものです (施設整備費は各年額となります)。

この制度を活用する場合は、入学手続の際に所定の申請書を提出していただきます。なお、入学後に申請することも可能です。詳細は、合格者宛に送付する「入学手続要項」を参照してください。

## 10. 個人情報の取り扱いについて

本学の入学試験において得られた、氏名・住所等の個人情報については、入学者の選抜に関する業務及び入学後の学籍管理のために使用します。また、本人の同意なしに第三者に提供することはありません。

2016年度

※大学記入欄

東北公益文科大学大学院  
公益学研究科入学志願票

A 票

受験番号

※

試験区分	公益学専攻修士課程 アジアビジネス特別選抜試験			[写真添付欄] ・縦4cm×横3cm、枠なし ・正面、上半身、脱帽、 背景なし ・写真の裏面に氏名を書いて から糊付けしてください。
フリガナ				
氏名				
生年月日	19 年 月 日生	性別 (○で囲む)		
	2015年4月1日時点 (満 歳)	男 ・ 女		
外国籍の者は国籍を記入				
現住所	〒	TEL	( )	
受験時連絡先 (受験票及び合否通知送付先)	〒	TEL 携帯	( ) ( )	
最終学歴				年 月 卒業・卒業見込み 修了・修了見込み
出願時所属先 (該当ある者のみ)	企業・自治 体・官公庁名		部署名・ 職位	
	〒	TEL	( )	

切り離さないこと

2016年度  
東北公益文科大学大学院  
入学検定料納付票

B 票

受験番号	※
フリガナ	
氏名	

※大学記入欄

裏面に「郵便振替払込受付証明書(お客様用)」  
を添付してください。

[検定料納付上の注意]

- ① 検定料は、払込用紙を使用して郵便局から振り込んでください。
- ② 払込みの際に受付局日附印を押した「郵便振替払込受付証明書(お客様用)」を必ず受け取って、裏面の所定の位置に貼付してください。
- ③ 「払込票兼受領票」は、本人の控えです。
- ④ 受付局日附印のないもの、「郵便振替払込受付証明書(お客様用)」を使用していないもの及び貼付されていないものは無効です。

2016年度  
東北公益文科大学大学院  
入学試験受験票

C 票

フリガナ	
氏名	
専攻・課程	公益学専攻修士課程
試験区分	アジアビジネス特別選抜試験
試験日程	2015年3月6日(日)
受験番号	※
試験時間割	※

※大学記入欄

大学受付印

裏面に宛先を明記し、  
切手を貼付してください。

○本票を試験日に持参  
してください

切り離さないこと

切り離さないこと

速 達

郵便はがき

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

住所・氏名・  
郵便番号を  
明記の上、  
332円分の  
切手を貼付

[住所]

[氏名]

様

切り離さないこと

郵便振替払込受付証明書(お客様用)  
貼付欄

※受付印(受付局日附印)のある  
「郵便振替払込受付証明書(お客様用)」  
を貼付してください。

※本人保管の払込票兼受領証は  
貼付しないでください。

東北公益文科大学 大学院事務室

〒997-0035 鶴岡市馬場町 14-1

TEL 0235-29-0555

# 志望理由書

東北公益文科大学大学院 入学志願用

試験区分		受験番号 (記入しないでください)	
公益学専攻修士課程 アジアビジネス特別選抜試験			
ふりがな	生年月日		
氏名	19 年 月 日生 (満 歳) 2016年4月1日時点		
住所	〒 -		
電話	( )		
最終な歴	学部	西暦 年 月 大学	学部 学科 卒業 卒業見込み
	大学院	西暦 年 月 大学大学院	研究科 専攻 修了 修了見込み
	その他	西暦 年 月	卒業 卒業見込み

この書類は、以下の指示に従って作成してください。

(1)この用紙を表紙にし、続けて以下(2)の書類を重ね、左上をホッチキスで留めてください。

(2)以下の項目について、必ず番号、項目名を明記の上、順番に記述した書類を作成してください。

1. 今日までの職務内容	字数任意	職務内容や実績 職歴を有しない者の場合は、個人または団体等での社会活動経験、インターンシップや留学等の活動経験、ビジネス等に関する調査や研究の活動等、今日までの活動経験や実績を記載
2. 志望理由	400字程度	アジアビジネス人材養成講座の受講を希望する理由
3. 修了後の展望	400字程度	事業の計画や組織にどのように貢献したいか等

※(2)の書類はワープロまたは手書きで作成してください。

ワープロの場合は、A4判、横書き、横40字×縦35行で作成してください。

手書きの場合は、A4判、横書き400字詰め原稿用紙を使用してください。

いずれの場合も、項目ごとに頁を変える必要はありません。両面使用可。

2016年度 東北公益文科大学大学院入学志願用

履 歴 書

受験番号	※
------	---

試験区分	公益学専攻修士課程 アジアビジネス特別選抜試験	
フリガナ		性別 (○で囲む)
氏 名		男 ・ 女
生年月日	19 年 月 日生 (満 歳) 2016年4月1日時点	国 籍 (外国籍の者のみ記載)
現住所	〒 -	

年	月	学 歴 (高校卒業以降、卒業・修了事項記載)
年	月	職 歴
年	月	社 会 活 動 等
年	月	免 許 ・ 資 格
賞 罰		

■ 各項目で、欄が不足する場合は、この用紙をコピーして作成し、各頁下に頁数を書き入れて下さい。



2016 年度 東北公益文科大学大学院入学志願用

アジアビジネス特別選抜

受験番号	※
------	---

# 推薦書

東北公益文科大学学長 殿

所属先等住所

---

電話番号

---

所属先等名

---

所属先等

代表者職名・

氏名

印

(出願者ご本人名で記入することはできません。)

貴大学院の入学試験にあたり、下記のことを貴学で学ぶにふさわしい者と認め、推薦します。  
 なお、入学が許可された場合、在学中は学業に専念できるよう、通学の便宜等に配慮いたします。

出願者氏名

---

推薦理由

---



---



---



---



---



---



---



---



---

# 【案内図】



**東北公益文科大学  
大学院事務室**

〒997-0035

山形県鶴岡市馬場町 14-1

**TEL 0235-29-0555**

**FAX 0235-29-0556**

e-mail : [gs@koeki-u.ac.jp](mailto:gs@koeki-u.ac.jp)

HP アドレス : <http://gs.koeki-u.ac.jp/>

2016 年度 大学院

アジアビジネス特別選抜試験要項  
(留学生枠)

公益学研究科公益学専攻 (修士課程)

東北公益文科大学大学院

## 1. 募集人員

### 公益学研究科 公益学専攻 修士課程 10名程度

## 2. 出願資格

以下のいずれかの要件を満たす者で、アジアビジネス人材養成講座の受講を目的とする者(※)。

- (1) 大学を卒業した者、および2016年3月卒業見込みの者
- (2) 学位授与機構において、学士の学位を授与された者、および2016年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2016年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（大学又は短期大学に2年以上在学し、62単位以上取得した者で、教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者等）
- (5) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2016年3月末までに22歳に達する者（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業した者や外国大学日本分校等を修了した者など大学卒業資格を有していない者で、本大学院において審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、かつ2016年3月末までに22歳に達する者）
- (7) その他大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※「アジアビジネス人材養成講座修了証」の発行要件を満たし修了証を取得する必要があります。また、演習の指導教員については、アジアビジネス人材養成講座の担当教員を選択する必要があります。

## 3. 試験日程

出願受付期間	留学生については、受験者と調整の上決定する。
試験日	
合格発表	
入学手続期間	

※最終日の消印有効

## 4. 出願手続

### (1) 出願書類

入学志願票 (A票)	別添の所定用紙に必要事項を記入したもの。 写真は、縦4cm、横3cm、1枚。3ヶ月以内に撮影したもの。正面・上半身・脱帽・背景なし。白黒・カラーいずれでも可。
志望理由書	別添の所定用紙に従って記入してください。
履歴書	別添の所定用紙に必要事項を記入したもの。

### (2) 出願方法

出願書類を一括取りそろえ、メールにて提出ください。

メールの送信先については、受験前に本学に確認してください。

## 5. 入学試験

入学試験は、次のとおり行います。

### (1) 選考方法

下記の試験および書類審査の結果を総合して選考します。

試験内容		試験時間
面接試験 (スカイプ等インターネット回線を用い、遠隔地にて行う。)	提出された志望理由書に基づき 試問する。	30分程度

### (2) 試験時間および試験場

受験者と調整の上決定します。

## 6. 合格発表

### (1) 合格者の発表

12月3日(木)

### (2) 合否通知の送付

合否通知を入学志願票に記載された「受験時連絡先」に送付します。

## 7. 入学手続

### (1) 合格者には、後日 入学手続について連絡をします。

[初年納付金]

(単位：円)

	年額	支払時期	
		入学手続時	2016年10月
入学金	200,000	200,000	—
授業料	500,000	250,000	250,000
施設整備費	100,000	50,000	50,000
合計	800,000	500,000	300,000

- ・ 企業等からの派遣入学者の入学金は100,000円です。
- ・ 上記の他に、学生教育研究災害傷害保険料1,750円(2年分)と学研災付帯賠償責任保険料680円(2年分)、海外インターンシップ(希望者)の費用が必要です。

(金額は2015年9月時点)

[学費減免について]

本人・派遣元の費用負担を軽減させるために、以下の減免制度があります。

	対象	減免内容
A 減免	[下記要件全てに該当する者] ・ 入学時無職である者 ・ 修了後、山形県内企業等に従事し、アジア諸国との経済交流に取り組む意思のある者 ・ 上の者の内、本学で採用を認めた者	入学金、授業料、施設整備費を全額免除
B 減免	[下記要件のいずれかに該当する者] ・ 入学時に山形県内に在住する者 ・ 山形県内に本社機能を有する企業等に所属する者	授業料を半額免除

### **[入学手続時納付金の返還措置について]**

本学では、入学手続終了後、入学を辞退される方から申出を受けた場合には、納付いただいた入学手続時納付金（入学金、授業料、施設整備費、学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料）から入学金を除いた額を返還いたします（振り込み手数料は本人負担）。返還申出期日は2016年3月下旬です。詳細は、お問合せください。

### **9. 長期履修制度について**

本大学院修士課程の標準修業年限は2年間ですが、諸事情により、3年又は4年間で計画的に履修を行う長期履修制度があります。この制度では、授業料2年分を履修年にあわせ、3年又は4年に分割納付するものです（施設整備費は各年額となります）。

この制度を活用する場合は、入学手続の際に所定の申請書を提出していただきます。なお、入学後に申請することも可能です。詳細は、お問合せください。

### **10. 個人情報の取り扱いについて**

本学の入学試験において得られた、氏名・住所等の個人情報については、入学者の選抜に関する業務及び入学後の学籍管理のために使用します。また、本人の同意なしに第三者に提供することはありません。

#### **問い合わせ先**

東北公益文科大学大学院事務室

山形県鶴岡市馬場町14-1

TEL : 0235-29-0555 FAX : 0235-29-0556

e-mail : gs@koeki-u.ac.jp

2016年度

※大学記入欄

東北公益文科大学大学院

受験番号

※

公益学研究科入学志願票

A 票

試験区分	公益学専攻修士課程 アジアビジネス特別選抜試験(留学生枠)			[写真添付欄] ・縦4cm×横3cm、枠なし ・正面、上半身、脱帽、 背景なし
フリガナ				
氏名				
生年月日	19 年 月 日生	性別 (○で囲む)		
	2016年4月1日時点(満 歳)	男 ・ 女		
外国籍の者は国籍を記入				
現住所	〒 TEL ( )			
受験時連絡先 (受験票及び合否通知送付先)	〒 TEL ( ) 携帯 ( )			
最終学歴	年 月 卒業・卒業見込み 修了・修了見込み			
出願時所属先 (該当ある者のみ)	企業・自治体・官公庁名		部署名・職位	
	〒 TEL ( )			

以下には何も記載しないこと



# 志望理由書

東北公益文科大学大学院 入学志願用

試験区分		受験番号（記入しないでください）			
公益学専攻修士課程 アジアビジネス特別選抜試験 （留学生枠）					
ふりがな		生年月日			
氏名		19 年 月 日生（満 歳） 2016年4月1日時点			
住所	〒 —				
電話	（ ）				
最終学歴	学部	西暦 年 月	大学	学部	学科 卒業 卒業見込み
	大学院	西暦 年 月	大学大学院	研究科	専攻 修了 修了見込み
	その他	西暦 年 月			卒業 卒業見込み

この書類は、以下の指示に従って作成してください。

(1)この用紙を記入し、併せて以下(2)の書類も作成してください。

(2)以下の項目について、必ず番号、項目名を明記の上、順番に記述した書類を作成してください。

1. 今日までの職務内容	字数任意	職務内容や実績 職歴を有しない者の場合は、個人または団体等での社会活動経験、インターンシップや留学等の活動経験、ビジネス等に関する調査や研究の活動等、今日までの活動経験や実績を記載
2. 志望理由	400字程度	アジアビジネス人材養成講座の受講を希望する理由
3. 修了後の展望	400字程度	事業の計画や組織にどのように貢献したいか等

※(2)の書類はワープロまたは手書きで作成してください。

ワープロの場合は、A4判、横書き、横40字×縦35行で作成してください。

手書きの場合は、A4判、横書き400字詰め原稿用紙を使用してください。

いずれの場合も、項目ごとに頁を変える必要はありません。

2016年度 東北公益文科大学大学院入学志願用

## 履 歴 書

受験番号

※

試験区分	公益学専攻修士課程 アジアビジネス特別選抜試験（留学生枠）	
フリガナ		性別（○で囲む）
氏 名		男 ・ 女
生年月日	19 年 月 日生（満 歳） 2016年4月1日時点	国 籍（外国籍の者のみ記載）
現住所	〒 —	

年	月	学 歴（高校卒業以降、卒業・修了事項記載）
年	月	職 歴
年	月	社会活動等
年	月	免許・資格
賞 罰		

■ 各項目で、欄が不足する場合は、この用紙をコピーして作成し、各頁下に頁数を書き入れて下さい。

## 修士課程

### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

- 国際的な視野を持ち、地域と共創しながら社会における課題の発見と解決に主体的に取り組みたいと考えている人材。
- 修士課程での研究・学修に必要な論理的思考能力・コミュニケーション能力や関連する基盤的実績のある人材。
- 具体的には、大学学部卒業生、社会人（ビジネスパーソン、公務員、地方議員、教員、NPO 法人・社会福祉法人等の公益法人勤務者、自営業者等）、留学生など。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

- 公益社会を実現するための課題と方法について学ぶため、基礎演習「公益社会デザイン」を配置します。
- 複合的な課題の発見とその解決に必要な専門知識を身につけるため、「政策系」「公益ビジネス系」「地域共創系」「福祉・環境系」「アジアビジネス系」の5つの科目群を配置します。
- 課題の分析に必要な手法・技法を身につけるため、「方法論科目」を配置します。
- 課題の解決に必要とされる多様な主体との共創力、実践力、異文化や多様な価値観に対する理解力を身につけるため、「発展科目」及び「プロジェクト科目」を配置します。
- 以上の集大成として修士論文又は研究課題を作成し、研究成果及び課題の解決策を提示します。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

必要な単位数を修得し、次の知識・能力を身につけた人材に学位を授与します。

- 課題の研究に必要な専門知識
- 課題を客観的に分析し解決策を論理的に思考する能力
- 課題の解決に向け多様な主体と共創し合意を形成する能力
- 社会的責任・異文化・多様な価値観に対する深い理解力

### 人材育成像（事例）

- 地域経済を担うビジネスリーダー  
企業や非営利組織の経営・運営（マネジメント）にあたり必要となる戦略、組織、財務等の専門知識を身につけ、実務上の課題の発見と解決に係る能力を高め、同時に企業・組織の果たすべき社会的責任を十分に理解し、地域経済の発展に寄与する人材。
- 地域共創・地域課題解決を担う市民  
市民の立場から官民の多様な組織、団体、個人等との連携、協働を推進し、地域社会の複合的な課題の解決に主体的に取り組むことができる人材。
- 専門性と共創力を身につけた公務員  
公務員に必要な政策立案や公共経営に関する専門知識を身につけ、企業・非営利組織・市民等と連携・協働しながら、地域課題の解決に主体的に取り組むことができる人材。
- 国際的視野を持ったビジネスパーソン  
ビジネスの展開にあたり、企画・開発、生産、販売等の一連のプロセスにおいて国際的な視野を持った発想と意思決定を行うことができ、実践的な語学力と他国・地域の文化に対する深い理解を持ち、ASEAN 地域等新興国の経済成長を企業や地域経済の発展に取り込むにあたり先頭を担う人材。

## 博士後期課程

### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

- 国際的な視野を持ち、日本及び地域社会における様々な課題の解決策を提示し、公益の実現に向け体系化を図りたいと考えている人材。
- 博士後期課程での研究に必要な高度な専門知識と基盤的実績及び論理的思考力を持つ人材。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

- 公益の視点から研究テーマに関する高度な専門知識を身につけるため、「公益学研究特殊講義」を配置します。
- 主研究指導教員1名及び副研究指導教員1名から成る研究指導グループの指導により、博士論文を作成します。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

- 必要な単位数を修得し、別に定める審査基準による博士論文審査に合格した人材に学位を授与します。

### 人材育成像

公益の視点から新たな学術的知見を開拓・先導する研究者及び高度専門職業人